

フィデリティ世界バリュー株式ファンド・フィデリティ・世界割安成長株投信のご紹介



大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会／一般社団法人日本STO協会

フィデリティ投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第388号
加入協会:一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会

流行に左右されず、市場が気づいていない 隠れた成長企業に割安な株価で投資

ファンドの特色

- 1 30年を超える優れた運用実績*を日本へ
- 2 一貫した投資哲学でテンバガー(10倍株)の原石を発掘
- 3 フィデリティが世界に展開する企業調査

*当ファンドの投資対象である「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託Fidelity® Low Priced-Stock Fund (フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド、以下、「参考ファンド」という場合があります。)の実績です。1989年12月27日に設定されました。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」の運用実績ではありません。また、「フィデリティ・世界割安成長株・マザーファンド」とは費用等が異なります。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。相場環境によっては上記のような運用ができない場合があります。

テンバガーとは株価が10倍になると期待される銘柄のことです。

元来は野球1試合で10塁打をあげることを意味する言葉で、フィデリティのポートフォリオ・マネージャーであるピーター・リンチが使い始めたと言われています。

継承される“テンバガー・ハンター”の系譜

私の辞書によれば、ティリングハストは、歴史を通じて最も偉大かつ成功したストックピッカーの一人である。

ピーター・リンチ

「フィデリティ・マゼラン・ファンド」を1977年から13年間運用し、約28倍という驚異的な運用実績を残し、元祖「テンバガー・ハンター」と呼ばれる。元来1試合で10塁打をあげる強打者を表現する野球用語であった「テンバガー」を、「10倍株」を表現する言葉として、ピーター・リンチが使い始めたと言われている。

テンバガー(10倍株)の原石を発掘する投資哲学

- 1 感情的になり、勘にしがたって投資をしてはならない。
忍耐強く、合理的に投資をしなければならない。
- 2 流行に左右されず、独自の製品や特別なサービス、健全な財務を備えた強い事業に投資をしなければならない。
- 3 華やかで最新の話題性を持つ銘柄は価格が過大であることが多い。割安な銘柄に投資をしなければならない。

ジョエル・ティリングハスト

TENBAGGER HUNTER

当ファンドの
運用担当チーム

共同運用主担当者



ジョエル・ティリングハスト
(ピーター・リンチから薫陶)

共同運用担当者



サリム・ハート
(運用調査経験:2007年～)



モーガン・ベック
(運用調査経験:2003年～)



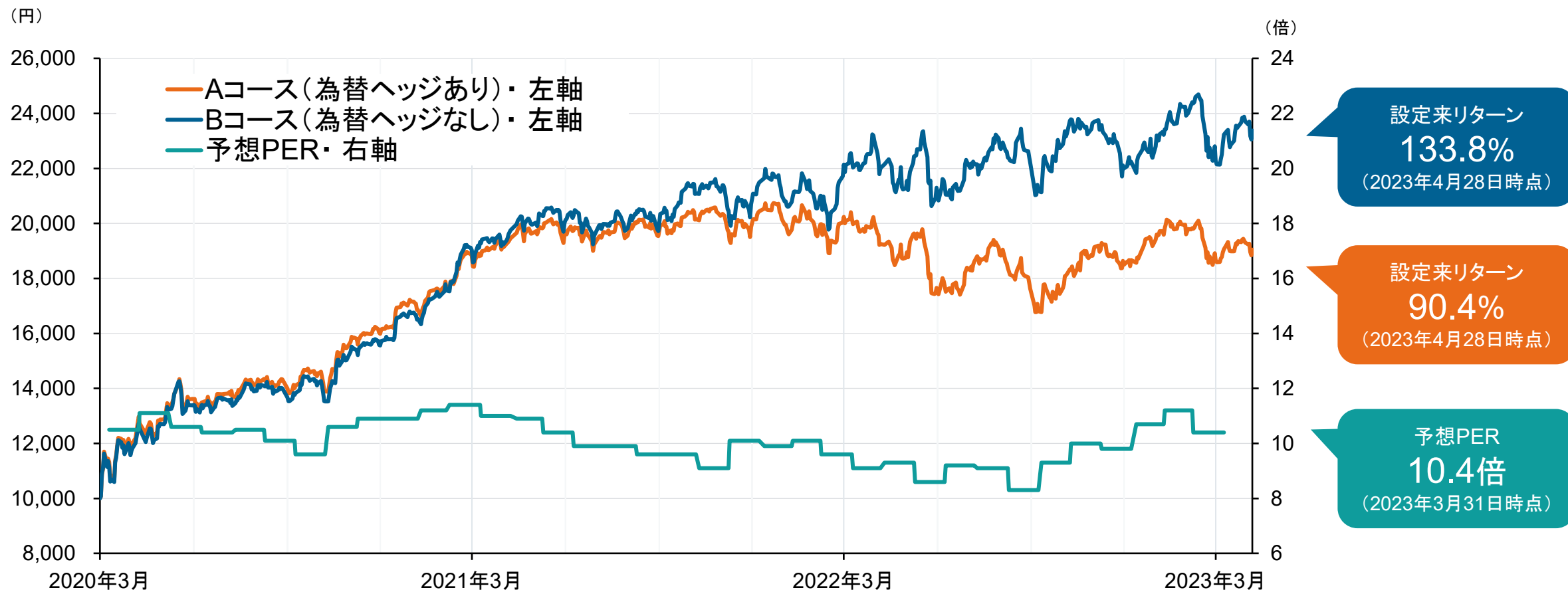
サム・シャモビッツ
(運用調査経験:2002年～)

(注) 2022年8月末時点。

2 上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

設定から3年を超え、好調なパフォーマンス

設定来のパフォーマンスの推移(2020年3月23日～2023年4月28日)

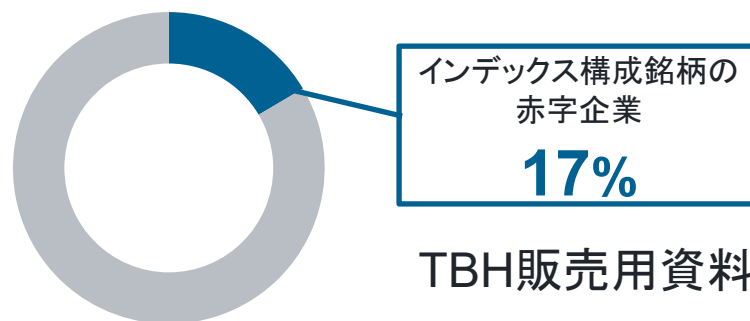


(注) フィデリティ投信作成。期間は2020年3月23日(設定日)～2023年4月28日。

予想PERはFMR Coより提供されるデータをもとに作成、期間は2020年4月～2023年3月、月次ベース。

幅広い投資領域から独自の調査で銘柄を選別

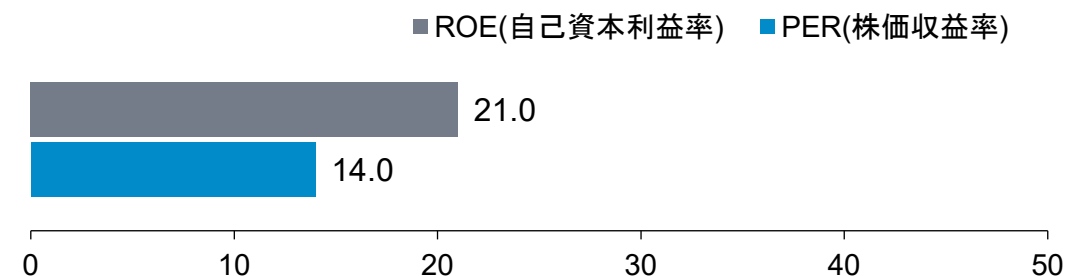
MSCI ワールド・スモールキャップ・インデックス構成銘柄のうち
約5分の1が赤字企業



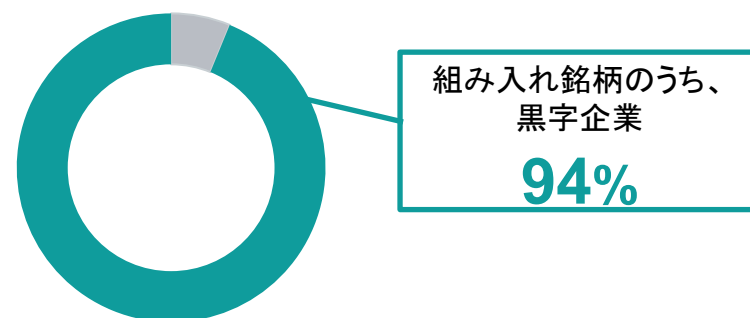
TBH販売用資料202305



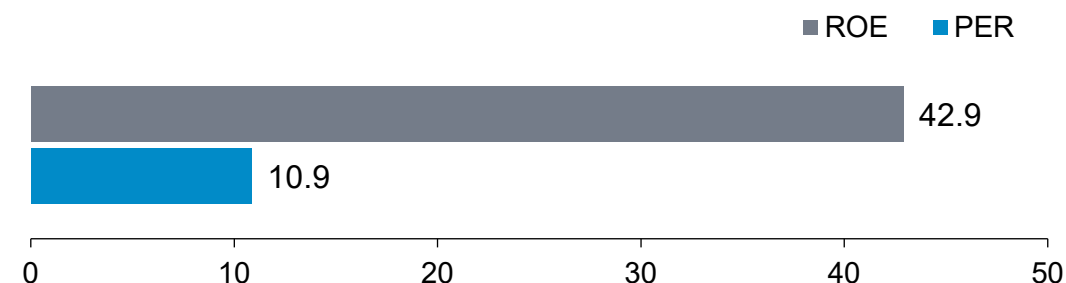
構成銘柄のうちの黒字企業については、収益性が低く、
バリュエーションは高い



当ファンドの組み入れ銘柄はほとんどが収益を生む企業



組み入れ銘柄は収益性が高く、バリュエーションは低い



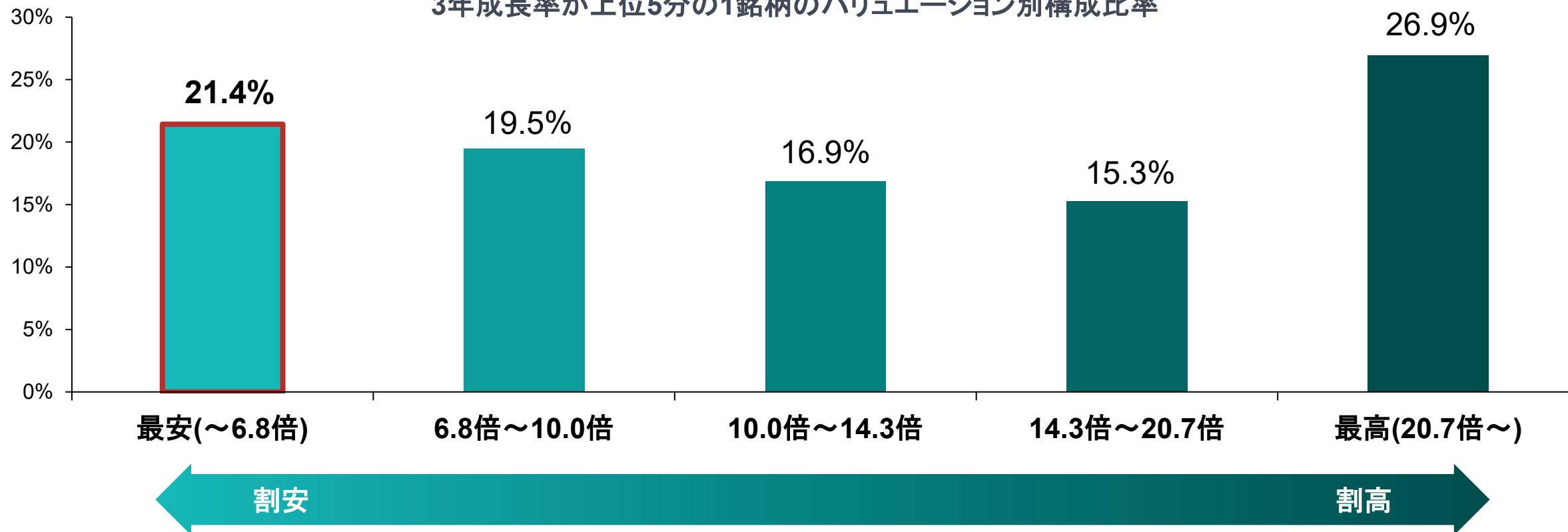
(注) FMR Co、Refinitivよりフィデリティ投信作成。2022年12月末時点。当ファンドはマザーファンドベース。

※当資料作成時点の見方です。今後予告なく変更されることがあります。

4 上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

高成長企業のなかに割安銘柄あり

グローバル株式インデックス構成銘柄のうち、
3年成長率が上位5分の1銘柄のバリュエーション別構成比率

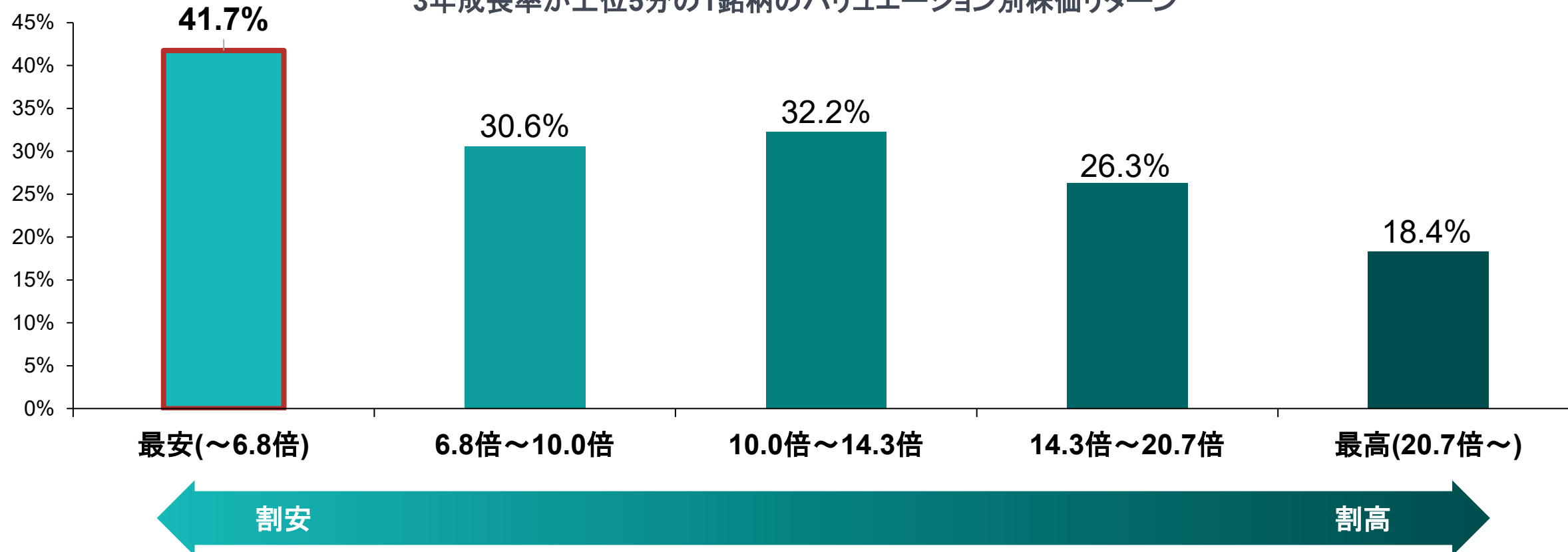


(注) Refinitivよりフィデリティ投信作成。期間は2020年3月末~2023年3月末。MSCIワールド・インデックス構成銘柄のうちデータ取得可能な銘柄を対象。バリュエーションは期初時点の予想PER(株価収益率)による5分位。IBES12カ月先予想。成長率は1株当たり利益の成長率。1株当たり利益の成長率で上位5分の1の銘柄を対象。構成比率は銘柄数ベース。

※当資料作成時点の見方です。今後予告なく変更されることがあります。

割安で高成長な銘柄は高い株価リターン

グローバル株式インデックス構成銘柄のうち、
3年成長率が上位5分の1銘柄のバリュエーション別株価リターン



(注) Refinitivよりフィデリティ投信作成。期間は2020年3月末~2023年3月末。MSCIワールド・インデックス構成銘柄のうちデータ取得可能な銘柄を対象。バリュエーションは期初時点の予想PER(株価収益率)による5分位。IBES12カ月先予想。1株当たり利益の成長率で上位5分の1の銘柄。株価リターンは配当込み、現地通貨ベース。

※当資料作成時点の見方です。今後予告なく変更されることがあります。

フィデリティ世界バリューストックファンド



1

40年以上の優れた実績

で米国を代表するバリュー・ファンドが日本に初上陸。(注)2023年1月末時点。

2

**アクティブ運用を中心に
世界有数の運用資産残高を誇るフィデリティ**
にて、長年受け継がれてきた運用哲学を一貫して実践。

3

バリュー相場における優れた実績。

40年以上の優れた実績で米国を代表するバリュー・ファンド

参考ファンド設定来パフォーマンス

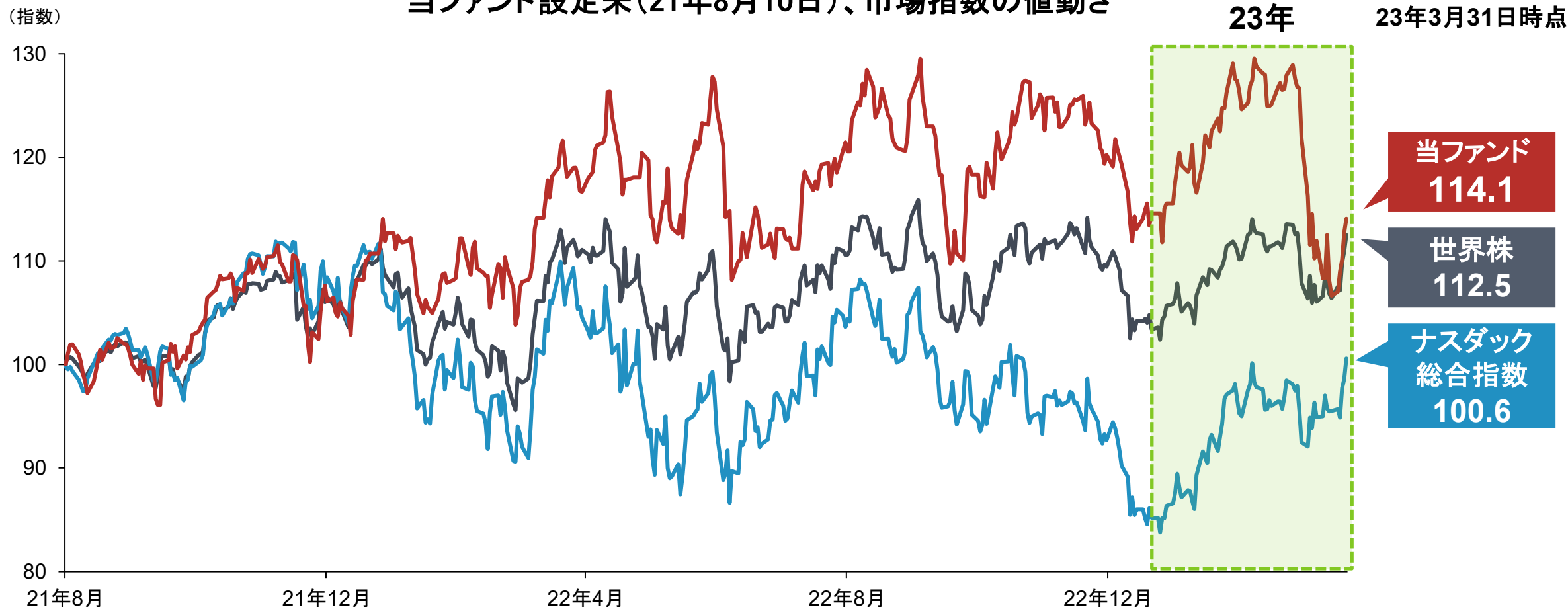


(注) FMR Co、RIMESよりフィデリティ投信作成。期間は1978年11月末～2023年1月末(参考ファンドは設定日(1978年12月1日)から)。期初を100として指数化。米ドルベース。世界株式はMSCIワールド、配当込み。参考ファンドはフィー控除後。

当ファンドの投資対象である「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Value Fund」(以下、「参考ファンド」という場合があります)の実績です。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」の運用実績ではありません。

世界株、ナスダック総合指数を上回るファンド実績

当ファンド設定来(21年8月10日)、市場指数の値動き



(注) Refinitiv よりフィデリティ投信作成。期初を100として指数化。期間は2021年8月10日(設定日)～2023年3月31日。日次データ。円ベース。トータルリターン。世界株はMSCIワールド指数。当ファンド(Bコース)の実績は基準価額を使用。基準価額は運用管理費用控除後。ただし、購入手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。指数はファンド設定日前日を100として計算。

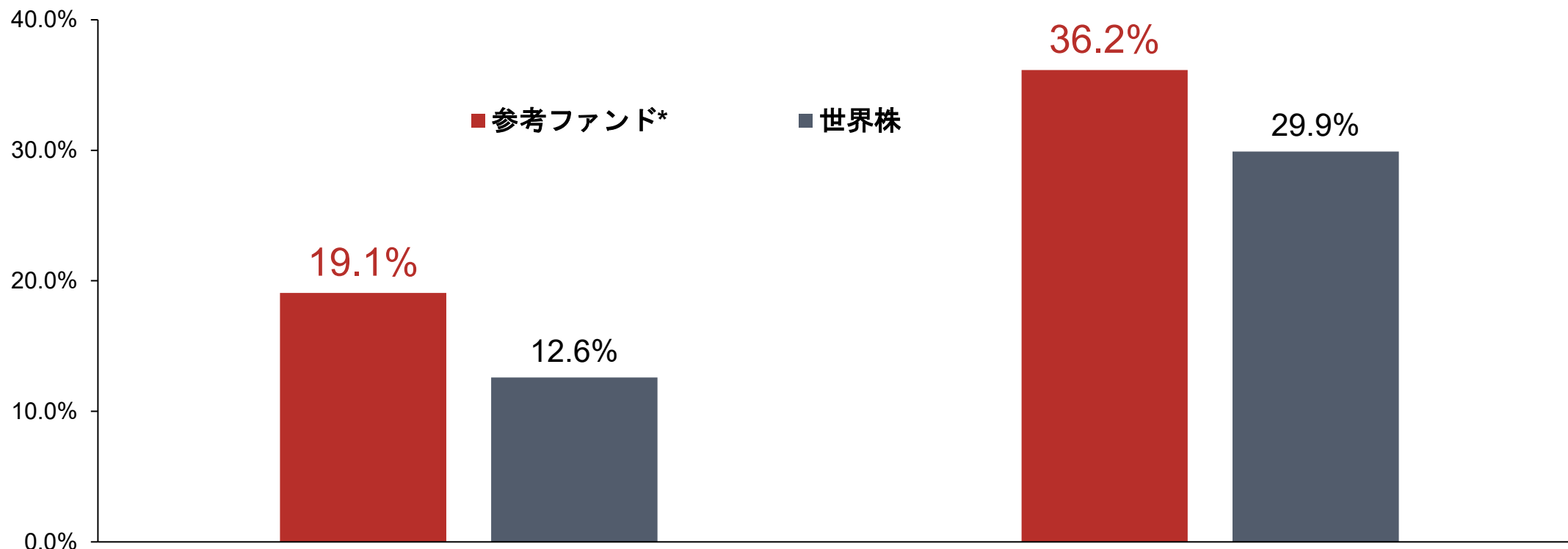
※当資料作成時点の見方です。今後予告なく変更されることがあります。

9 上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

下落後には市場よりも大きく上昇

月間5%以上下落後の
1年後平均騰落率

月間10%以上下落後の
1年後平均騰落率



(注)FMR Co、RIMESよりフィデリティ投信作成。計算期間は1978年11月末～2023年3月末(参考ファンドは設定日(1978年12月1日)から)。米ドルベース。世界株はMSCIワールド指数、配当込み。参考ファンドはフィー控除後。

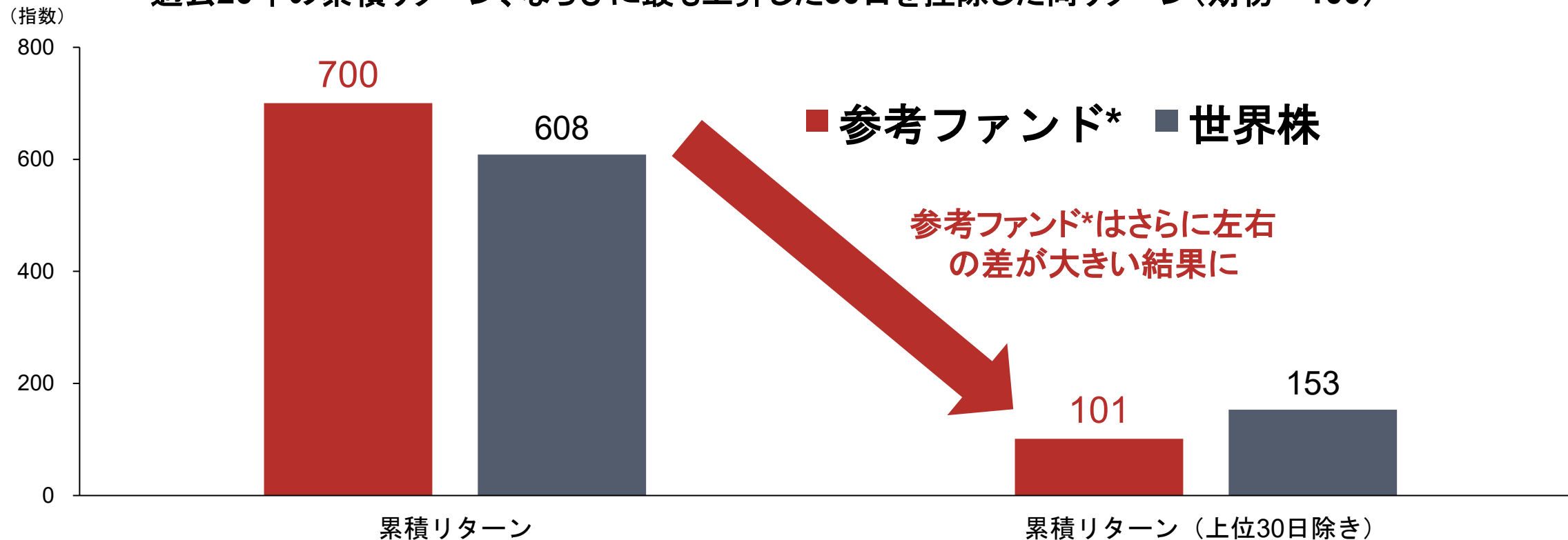
参考ファンドとは、当ファンドの投資対象である「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Value Fund」を指します。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」の運用実績ではありません。

※当資料作成時点の見方です。今後予告なく変更されることがあります。

10 上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。最終ページの「ご注意点」を必ずご確認ください。

優れた投資機会は下落時の反騰期間にあり

過去20年の累積リターン、ならびに最も上昇した30日を控除した同リターン(期初=100)



(注)FMR Co、RIMESよりフィデリティ投信作成。計算期間は2003年3月末～2023年3月末。米ドルベース。世界株はMSCIワールド指数、配当込み。参考ファンドはフィー控除後。リターンは期初を100として指数化。

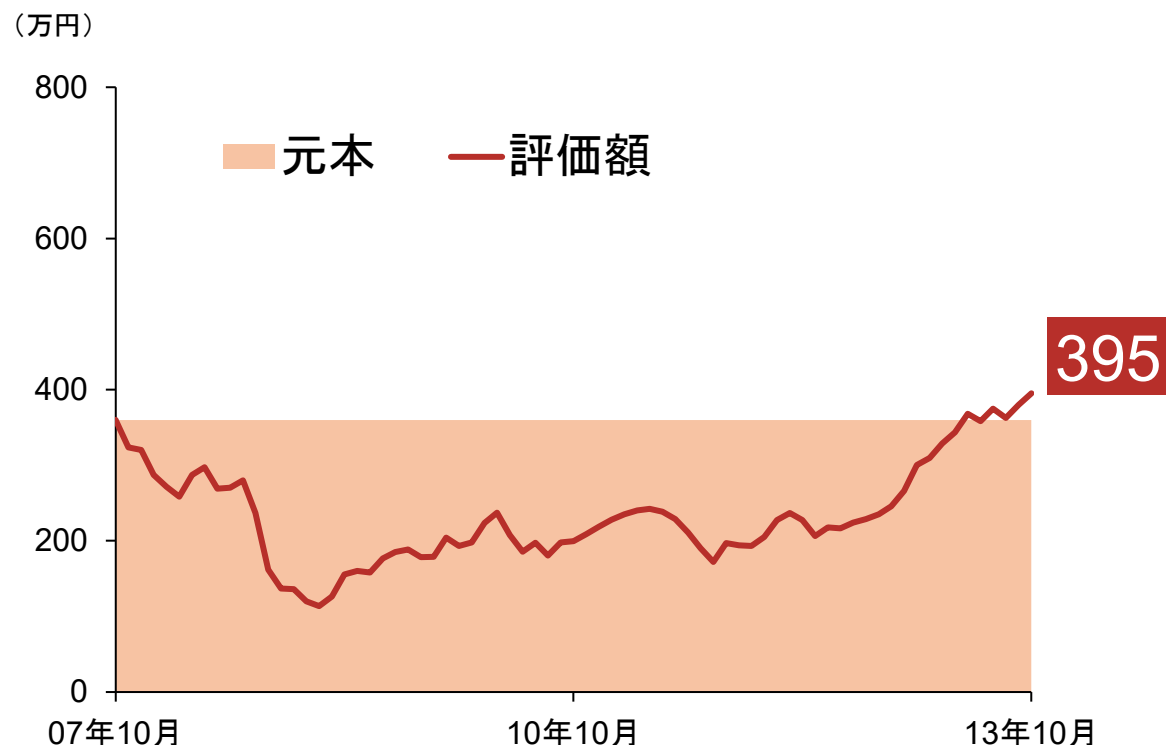
参考ファンドとは、当ファンドの投資対象である「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Value Fund」を指します。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」の運用実績ではありません。

※当資料作成時点の見方です。今後予告なく変更されることがあります。

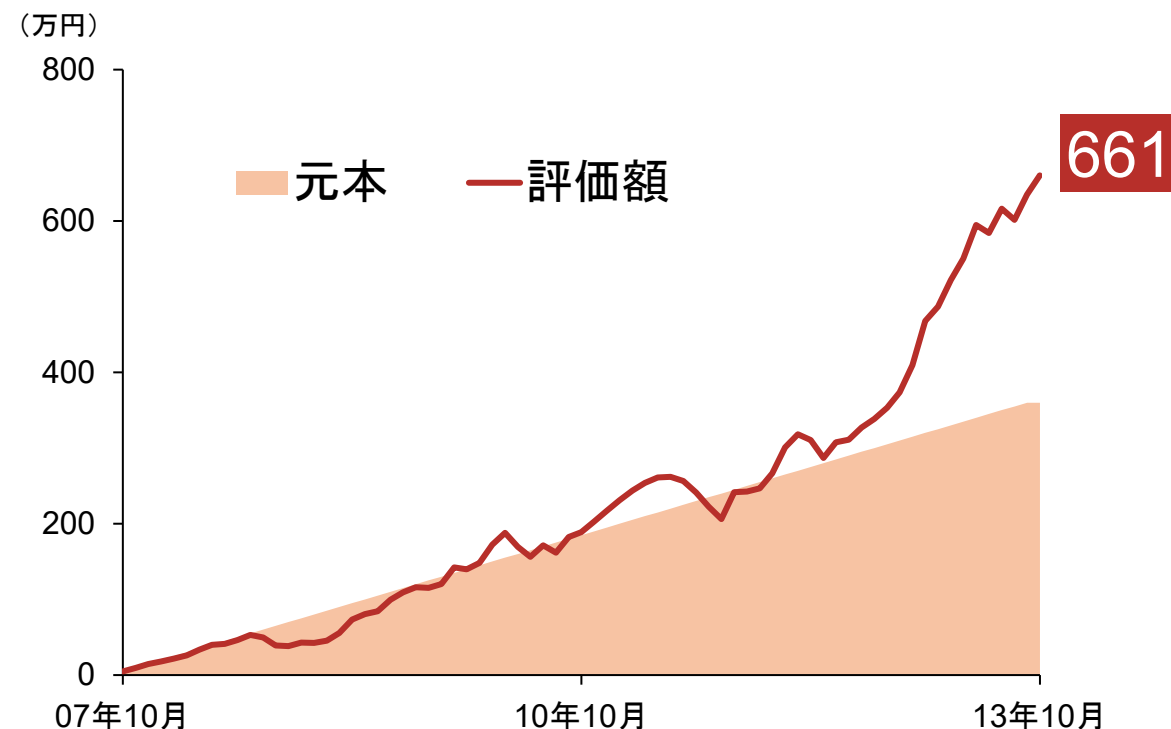
積立投資は市場の動きに一喜一憂せずに効果的な投資が継続可能

参考ファンド*にリーマン・ショック前から一括投資、積立投資をした場合の投資成果

1回で360万円全額を投資した場合



毎月5万円を6年間(計360万円)積み立てた場合



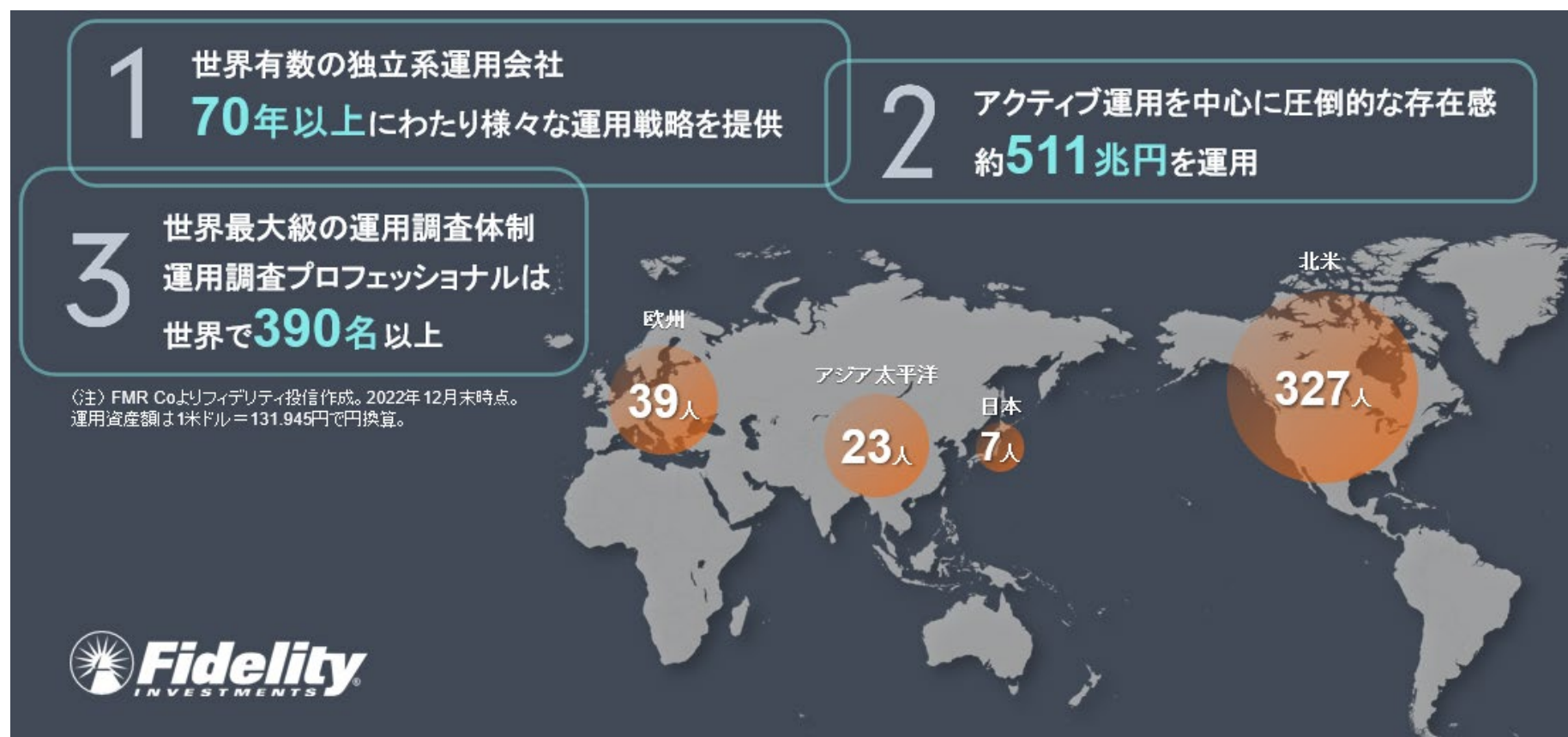
(注) FMR Co、RIMESよりフィデリティ投信作成。計算期間は2007年10月末～2013年10月末。円ベース。参考ファンドはフィー控除後。売買手数料、税金等は考慮しない。

参考ファンドとは、当ファンドの投資対象である「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」と同様の運用担当者、投資哲学、運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Value Fund」を指します。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」の運用実績ではありません。

※当資料作成時点の見方です。今後予告なく変更されることがあります。

フィデリティ世界バリュー株式ファンドと フィデリティ・世界割安成長株投信の共通点と相違点

- 割安かつ利益が成長する銘柄に着目
- 世界最大級の運用調査体制によるボトムアップアプローチ
- 長期に渡る優れた実績



投資期間と投資スタイルの違い

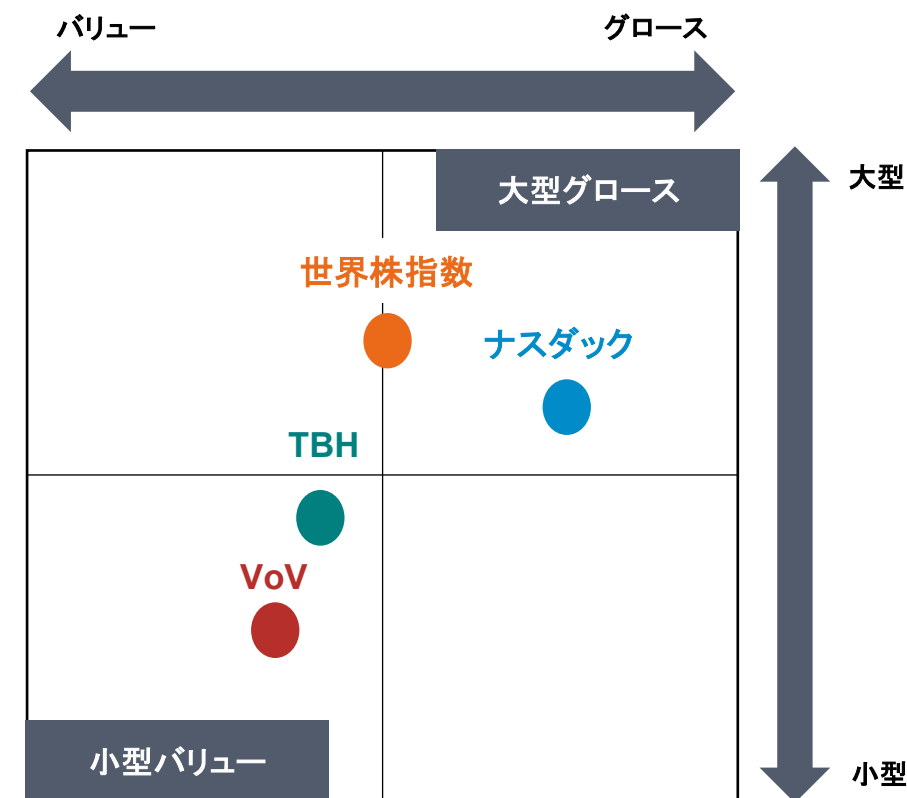
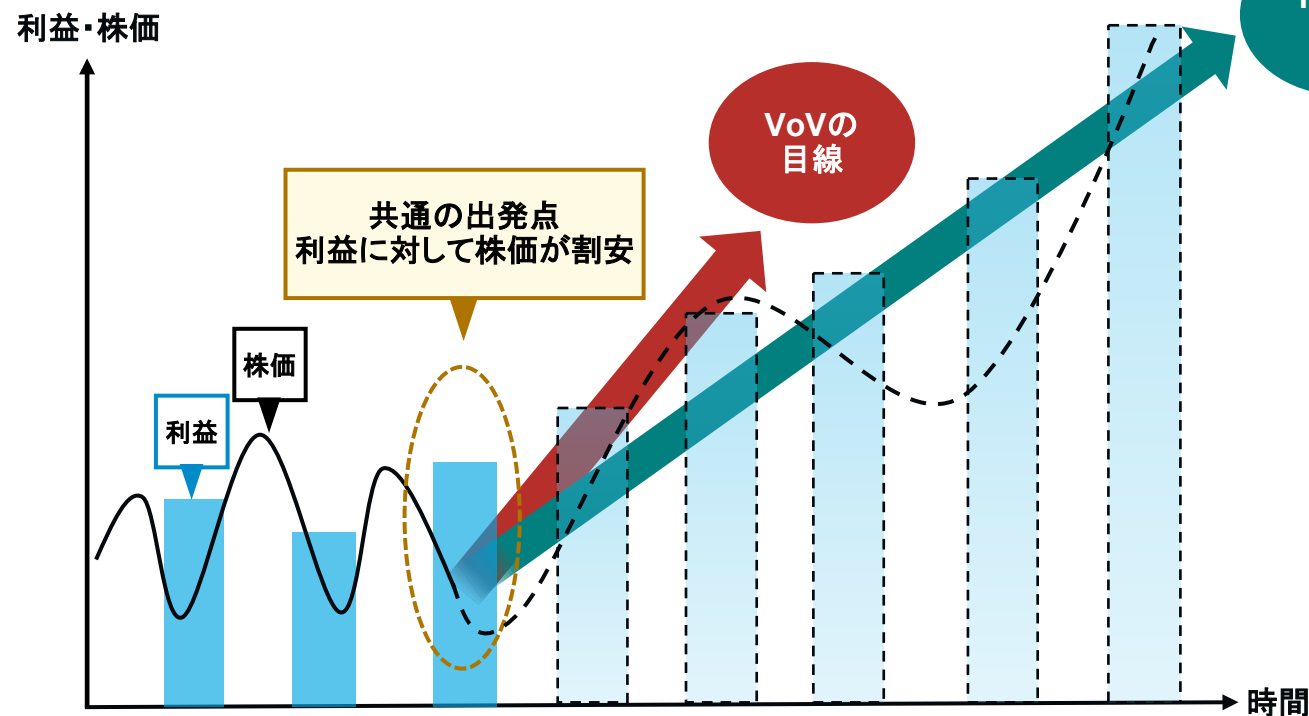
VoV

1年半～3年先の利益成長を見通し、
景気循環的な銘柄群も積極的に
組み入れ

TBH

景気サイクルを乗り越え、
3～5年先まで利益成長する銘柄に
着目

投資スタイルのイメージ



(注)フィデリティ投信作成。上記はイメージであり、実績ではありません。両ファンドについてご理解いただくためのご参考として掲載しています。
世界株指数はMSCIワールド、ナスダックはナスダック総合指数。

投資銘柄数と上位銘柄の違い

VoV

185 銘柄に分散投資
その内、126 銘柄（68%）は
世界株指数に含まれない

VoVの上位10銘柄

	銘柄名	業種	国・地域
1	エジソン・ インターナショナル	公益事業	アメリカ
2	PG&E	公益事業	アメリカ
3	ウェルタワース	不動産	アメリカ
4	アンテロ・リソーシズ	エネルギー	アメリカ
5	キューブスマート	不動産	アメリカ
6	アポロ・グローバル・ マネジメント	金融	アメリカ
7	ヘス	エネルギー	アメリカ
8	リーガル・レックスノード	資本財・サービス	アメリカ
9	コンステレーション・エナジー	公益事業	アメリカ
10	アーコニック	素材	アメリカ

TBH

396 銘柄に分散投資
その内、333 銘柄（84%）は
世界株指数に含まれない

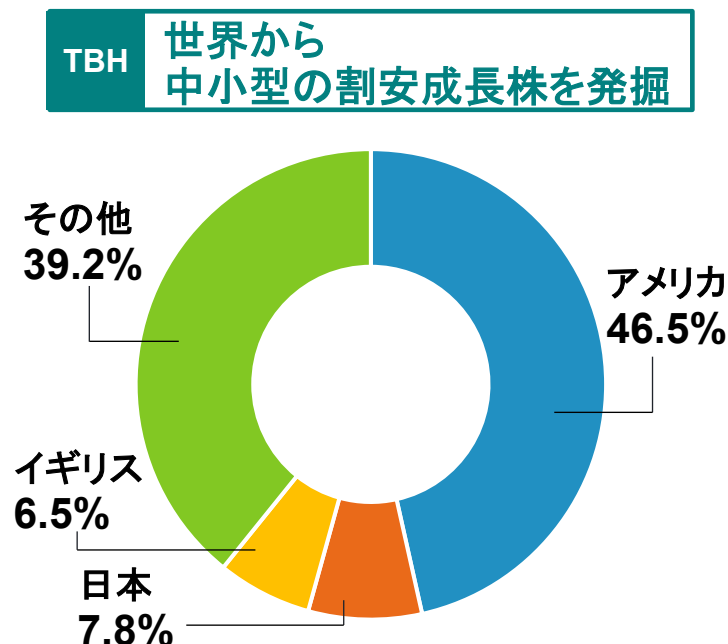
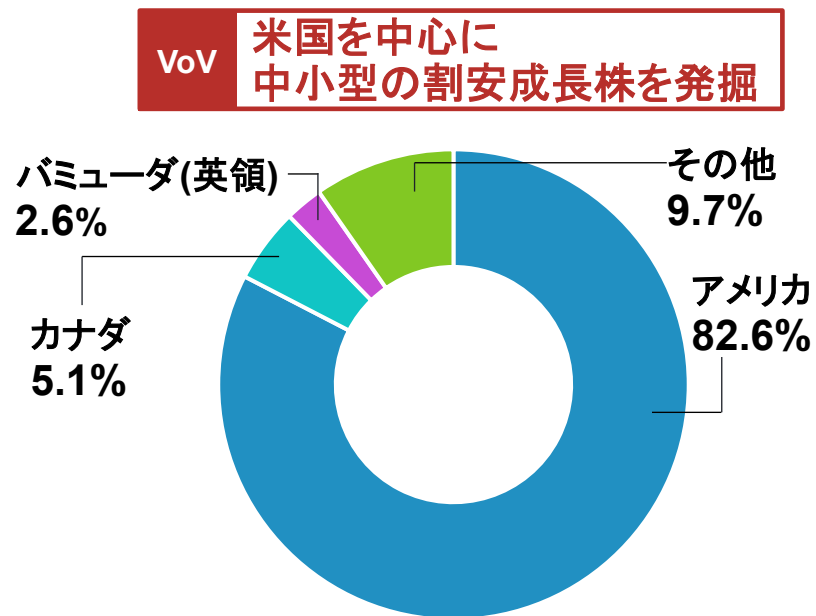
TBHの上位10銘柄

	銘柄名	業種	国・地域
1	ユニバー・ソリューションズ	資本財・サービス	アメリカ
2	PG&E	公益事業	アメリカ
3	シーゲート・テクノロジー・ ホールディングス	情報技術	アイルランド
4	ウェルズ・ファースト	金融	アメリカ
5	トタルエナジー	エネルギー	フランス
6	国薬控股(シノファーム・グループ)	ヘルスケア	中国
7	ジェンパクト	資本財・サービス	バミューダ(英領)
8	コンセントリクス	資本財・サービス	アメリカ
9	アリマントーション・クシュタール	生活必需品	カナダ
10	アンテロ・リソーシズ	エネルギー	アメリカ

共通して保有する銘柄の割合はわずか14%

(注) Refinitivよりフィデリティ投信作成。全て2023年3月末時点。マザーファンドベース。世界株指数はMSCIワールド。共通銘柄の割合は、どちらか少ない方のウェイトを合計して計算。ウェイトは対純資産総額で計算。業種はMSCI/S&P世界産業分類基準に準拠。掲載されている個別の銘柄・企業名について、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨もしくはファンドでの保有を示唆・保証するものではありません。

国別・地域別配分の違い



2023年3月末時点の特性値	VoV	TBH	世界株指数
予想株価収益率(PER)	11.2倍	10.4倍	16.3倍
株価純資産倍率(PBR)	2.0倍	1.7倍	2.9倍
平均時価総額(10億米ドル)	13.0	21.8	377.8

(注)FMR Coよりフィデリティ投信作成。2023年3月末時点。VoVは「フィデリティ世界バリュー株式マザーファンド」、TBHは「フィデリティ・世界割安成長株投信マザーファンド」のデータを使用。予想株価収益率は12カ月先予想に基づく。世界株指数はMSCIワールド。

投資リスク・基準価額の変動要因

●投資信託は預貯金と異なります。●ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様には帰属します。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。

「フィデリティ・世界バリュー株式ファンド」および「フィデリティ・世界割安成長株投信」の主な基準価額の変動要因としては、「価格変動リスク」「為替変動リスク」「エマージング市場に関わるリスク」などがあります。その他の留意点としては「クーリング・オフ」「流動性リスク」「デリバティブ（派生商品）に関する留意点」などがあります。くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

収益分配金に関わる留意点

分配金は、預貯金の利息とは異なります。分配金の支払いは純資産から行なわれますので、分配金支払い後の純資産は減少することになり、基準価額が下落する要因となります。

分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。計算期間におけるファンドの運用実績は、期中の分配金支払い前の基準価額の推移および収益率によってご判断ください。投資者のファンドの購入価額によっては分配金はその支払いの一部、または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

	フィデリティ世界バリュー株式ファンド A/B/C/Dコース	フィデリティ・世界割安成長株投信 A/B/C/Dコース
購入単位	100円以上1円単位*または100口以上1口単位 *購入時手数料および購入時手数料に対する消費税等に相当する金額を含めて、上記単位でご購入いただけます。※ただしスイッチングの場合は、1口単位です。	
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額	
購入代金	原則として、購入申込日から起算して5営業日までに販売会社にお支払いください。	
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。	
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から、お申込みの販売会社にてお支払いします。	
申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までに、販売会社が受付けたものを、当日のお申込み受付分とします。	
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークにおける銀行の休業日においては、スイッチングを含めお申込みの受付は行ないません。	
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行なうため、大口のご換金には別途制限を設ける場合があります。	ファンドの資金管理を円滑に行なうため、1日1件10億円を超えるご換金はできません。また、大口のご換金には別途制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及び既に受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消す場合があります。	
信託期間	2021年8月10日(設定日)から2026年7月15日まで	原則として無期限
繰上償還	各ファンドの受益権の残存口数が30億口を下回った場合等には、繰上償還となる場合があります。	
決算日	Aコース/Bコース: 原則、毎年1月、7月の各15日。 Cコース/Dコース: 原則、毎月15日。 ※決算日にあたる日が休業日となった場合、その翌営業日を決算日とします。	Aコース/Bコース: 原則、毎年2月20日。 Cコース/Dコース: 原則、毎月20日。 ※決算日にあたる日が休業日となった場合、その翌営業日を決算日とします。
収益分配	Aコース/Bコースは年2回の決算時に、Cコース/Dコースは年12回の決算時に、収益分配方針に基づいて、分配を行ないます。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 販売会社との契約によっては、収益分配金は、税引き後無手数料で再投資が可能です。	Aコース/Bコースは年1回の決算時に、Cコース/Dコースは年12回の決算時に、収益分配方針に基づいて、分配を行ないます。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 販売会社との契約によっては、収益分配金は、税引き後無手数料で再投資が可能です。
信託金の限度額	Aコース、Bコース、CコースおよびDコースの合計で1兆5,000億円	AコースおよびBコースの合計で1兆円、CコースおよびDコースの合計で1兆円
スイッチング	各コース間でスイッチングが可能です。 スイッチングの際には換金時と同様に税金をご負担いただきます。	各コース間でスイッチングが可能です。 スイッチングの際には換金時と同様に税金をご負担いただきます
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」、「ジュニアNISA」の適用対象です。 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 ※上記は作成基準日現在のもので、税法が改正された場合等には、内容が変更される場合があります。	

	フィデリティ世界バリュー株式ファンド A/B/C/Dコース	フィデリティ・世界割安成長株投信 A/B/C/Dコース
--	----------------------------------	--------------------------------

■お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	購入金額に以下の購入時手数料率を乗じて得た額とします。 購入金額：(申込受付日の翌営業日の基準価額／1万口) × 購入口数		購入金額に以下の購入時手数料率を乗じて得た額とします。 購入金額：(申込受付日の翌営業日の基準価額／1万口) × 購入口数	
	購入金額	手数料率	購入金額	手数料率
	2千万円未満	3.30% (税抜3.0%)	2千万円未満	3.30% (税抜3.0%)
	2千万円以上5千万円未満	2.20% (税抜2.0%)	2千万円以上5千万円未満	2.20% (税抜2.0%)
	5千万円以上1億円未満	1.65% (税抜1.5%)	5千万円以上1億円未満	1.65% (税抜1.5%)
	1億円以上5億円未満	1.10% (税抜1.0%)	1億円以上5億円未満	1.10% (税抜1.0%)
	5億円以上	0.55% (税抜0.5%)	5億円以上	0.55% (税抜0.5%)
信託財産留保額	ありません。		ありません。	
スイッチング手数料	ありません。		ありません。	

■お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に対し、 年率1.65%(税抜1.50%)		ファンドの純資産総額に対し、左記の率を乗じた額が運用管理費用(信託報酬)として毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、ファンドの毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。	ファンドの純資産総額に対し、 年率1.65%(税抜1.50%)		ファンドの純資産総額に対し、左記の率を乗じた額が運用管理費用(信託報酬)として毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、ABコースはファンドの毎計算期の最初の6ヵ月終了日(当該日が休業日の場合は翌営業日)及び毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。CDコースはファンドの毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。
	内 訳			内 訳		
	委託会社	年率0.814%(税抜0.74%)		委託会社	年率0.81125%(税抜0.7375%)	
	販売会社	年率0.814%(税抜0.74%)		販売会社	年率0.81125%(税抜0.7375%)	
	受託会社	年率0.022%(税抜0.02%)		受託会社	年率0.0275%(税抜0.025%)	
その他費用・手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、ファンドからその都度支払われます。ただし、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を表示できません。					
	・組入有価証券の売買委託手数料: 有価証券の売買の際、売買仲介人に支払う手数料					
	・信託事務の諸費用等: 投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用及び受託会社の立替えた立替金の利息					
	法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等は、ファンドの純資産総額に対して年率0.10%(税込)を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎年1月及び7月に到来する計算期末または信託終了のときに、ファンドから支払われます。			法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等は、ファンドの純資産総額に対して年率0.10%(税込)を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、ABコースはファンドの毎計算期の最初の6ヵ月終了日(当該日が休業日の場合は翌営業日)及びファンドの毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。CDコースは毎年2月及び8月に到来する計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。		
	・法定書類等の作成等に要する費用: 有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷及び提出等に係る費用					
・監査費用: ファンドの監査人等に対する報酬及び費用						
※当該手数料・費用等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。						

- 当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。
- 「フィデリティ世界バリュー株式ファンドAコース（年2回決算・為替ヘッジあり）/Bコース（年2回決算・為替ヘッジなし）/Cコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり）/Dコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）」「フィデリティ・世界割安成長株投信Aコース（為替ヘッジあり）/Bコース（為替ヘッジなし）」「フィデリティ・世界割安成長株投信Cコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジあり）/Dコース（毎月決算・予想分配金提示型・為替ヘッジなし）」が投資を行なうマザーファンドは、主として国内外の株式等を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。
- ファンドの基準価額は、組み入れた株式やその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、組み入れた株式やその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客様ご自身のご負担となります。
- ご購入の際は投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- 投資信託説明書（交付目論見書）については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ（<https://www.fidelity.co.jp/>）をご参照ください。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。

SD230602-1 IM221229-1 IM230228-2 IM230323-2 IM230411-1 IM230515-6 CSIS230605-1